様式１

教科用図書第３採択地区調査委員会

（　技術・家庭　）小委員会委員長

草　間　留美子　印

調査研究・審議の経過	１　審議の対象となった発行者名および数 ・東京書籍、教育図書、開隆堂の三者 ２　調査研究の手段 ・第１回調査委員会（７月９日）で三者の教科書を配付し、調査の観点や手順を協議した。 ・第２回調査委員会（８月７日、８日）に各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式１について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ、様式２～６を作成した。 ３　調査研究のための観点、項目 ・取扱内容については、技術分野の目標が達成できるようどのような学習活動が取り上げられているか、知識及び技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容がどのように取り扱われているかという視点で調査し整理した。 ・内容の構成・排列等については、系統的、発展的に組織されているかという視点で調査し整理した。 ・使用上の配慮等については、生徒の意欲を高めるように工夫されているか、自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるように工夫されているかという観点で調査し整理した。
全体を通じての特徴	１　東京書籍については、問題解決に必要な製作の基礎技能が「TECH Lab」としてまとめられており、工具の使い方をすばやく確認することができたり、二次元コードを掲載し、基礎技能動画や思考ツール、シミュレーションを活用できるようにしたりするなど、使用上の便宜が図られているという特色があり、優れている。 教育図書については、工具の使用方法、作物の育成管理などの技能に関わる内容について、「スキルアシスト」として別冊に収録されており、生徒自ら調べて実践しやすいようにしたり、二次元コードを掲載し、製作動画やインタビュー動画を活用できるようにしたりするなど、使用上の便宜が図られているという特色があり、優れている。 開隆堂については、技能についても１時間ごとの学習課題が細分化して示されており、生徒にとって学習の見通しをもちやすくしたり、二次元コードを掲載し、技能の手順や仕組みを説明する動画や学習課題を提示する動画を活用できるようにしたりするなど、使用上の便宜が図られているという特色があり、優れている。 ２　このほか、三者とも実在の技術者についての記事を掲載するなど、生徒の興味関心を引く工夫がされているなどの話題が出されていた。

様式２

技術・家庭（技術分野）の目標について
【教科の目標】 生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。 (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
【学年・分野・領域等の目標など】 ［技術分野の目標］ 技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。 (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【参考】

○ 目標の改善

教科目標及び分野目標については、今回の改訂の基本方針を踏まえ、育成を目指す資質・能力を三つの柱により明確にし、全体に関わる目標を柱書として示すとともに、(1)として「知識及び技能」を、(2)として「思考力、判断力、表現力等」を、(3)として「学びに向かう力、人間性等」の目標を示す。

また、(1)から(3)までに示す資質・能力の育成を目指すに当たり、質の高い深い学びを実現するために、技術・家庭科の特質に応じた物事を捉える視点や考え方（見方・考え方）を働かせることを示す。

○ 標準授業時数

第１学年－70 単位時間　　第２学年－70 単位時間　　第３学年－35 単位時間

様式３

番号 ＼ 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教　科　書　名
	２・東書	第１・２・３学年 技術分野	技術・002-72	新編　新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
取扱内容〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、内容の構成・排列	○　技術分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「Ａ材料と加工の技術」において、身の回りの製品や建築物について開発者が込めた問題解決の工夫を考えることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、生活や学校、社会の中から問題を見いだし解決する学習活動を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動 ・「Ｂ生物育成の技術」において、夏野菜を冬に栽培することができる技術について考えることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、持続可能な社会の実現に向け、生物育成の技術でできることについて話し合うことを通して、生物育成の技術を工夫し創造したりする活動 ・「Ｃエネルギー変換の技術」において、身の回りの機器が動く仕組みについて調べることを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、自身が経験した問題解決と社会や産業における問題解決の共通点や違いについて考えることを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動 ・「Ｄ情報の技術」において、生活や社会の中で使われている情報の技術を見付け、まとめることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、よりよい生活の実現に向けて、情報の技術でできることについて考えることを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「生物育成の技術による問題解決」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、グループで育成計画を交流し、必要に応じて修正したり、栽培の育成計画や観察記録を振り返り、栽培レポートを作成したりするなど、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○　内容の構成・排列については、「技術分野の学習を始めよう」において、３学年間の学習の見通しをもたせるとともに、「生活や社会を支える材料と加工の技術」において、技術に関する原理・法則と、基礎的な技術の仕組みについて理解する学習を行った後に、技術によって問題を解決する学習を位置付けるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。			
使用上の配慮等	○　問題の発見や課題設定のイメージをもたせるための３コマ漫画を示したり、技術の見方・考え方に気付かせるための「技術のめがね」を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　各節の冒頭に考えを交流し合う「始めの活動」や、学習内容を振り返り、次の学習につなげる「まとめの活動」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　巻頭に安全への意識を高めるページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザイン書体を使用したりするとともに、１人１台端末を活用した学習活動として、「Ｄマーク」（二次元コード）を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。			
その他	※　中学校用教科書目録（令和７年度使用　文部科学省）による ○　学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。			

様式３

番号 ＼ 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教　科　書　名
	６・教図	第１・２・３学年 技術分野	技術・006-73 技術・006-74	新　技術・家庭　技術分野 明日を創造する 新　技術・家庭　技術分野 明日を創造する スキルアシスト
取扱内容〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、内容の構成・排列	○　技術分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「Ａ材料と加工の技術」において、身の回りの製品の開発の工夫と問題解決の進め方について調べることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、身の回りで不便に感じていることなどの問題の解決に向けた学習活動を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動 ・「Ｂ生物育成の技術」において、生物の特性や習性に合わせて環境を調節する技術について考えることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、技術のプラス面とマイナス面を踏まえ、社会における技術の在り方についてまとめることを通して、生物育成の技術を工夫し創造したりする活動 ・「Ｃエネルギー変換の技術」において、身の回りの製品の技術の工夫について調べることを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、よりよいエネルギーの利用やエネルギー変換の技術の活用法などについて考えることを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動 ・「Ｄ情報の技術」において、身近な生活や社会で利用されている情報の技術について考え、見付けることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、情報の技術の役割や影響を踏まえ、新しく開発したい技術について考えることを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「生物育成の技術『技術をいかそう』」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、自分の考えた計画を先輩や友人の計画と比較し見直したり、環境調節の仕方や成長に応じた管理の仕方などの修正案をまとめたりするなど、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○　内容の構成・排列については、「学習内容への道案内」において、３学年間の学習の見通しをもたせるとともに、「材料と加工の技術『技術を見つめよう』」において、技術に関する原理・法則と、基礎的な技術の仕組みについて理解する学習を行った後に、技術によって問題を解決する学習を位置付けるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。			
使用上の配慮等	○　問題解決の流れを学ぶための４コマ漫画を示したり、設計・計画や実習に活用できるよう技術資料を別冊にまとめたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　学習の流れを明確にするための「見つける」「学ぶ」「ふり返る」の３つのステップや、学習内容を自ら確認し、振り返りにつなげる「めあて」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　学習全体に対する安全や各編に特化した安全のページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザイン書体を使用したりするとともに、１人１台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。			
その他	※　中学校用教科書目録（令和７年度使用　文部科学省）による ○　学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。			

様式３

番号 ＼ 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教　科　書　名
	９・開隆堂	第１・２・３学年 技術分野	技術・009-72	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて
取扱内容〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、内容の構成・排列	○　技術分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「Ａ材料と加工の技術」において、身の回りの製品に使われている材料と使用場面について調べることを通して、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、日常生活を見直して問題を見いだし解決する学習活動を通して、材料と加工の技術を工夫し創造したりする活動 ・「Ｂ生物育成の技術」において、季節を問わず安定して作物を生産する栽培方法の特徴について考えることを通して、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、これからの生物育成の技術や、その活用について話し合うことを通して、生物育成の技術を工夫し創造したりする活動 ・「Ｃエネルギー変換の技術」において、身の回りの製品に込められた技術の仕組みについて調べることを通して、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、新しいエネルギー変換の技術について調べ、考えたことを情報交換することを通して、エネルギー変換の技術を工夫し創造したりする活動 ・「Ｄ情報の技術」において、情報の技術と身の回りにある製品やサービスとの関わりについて考えることを通して、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解したり、自身が経験した問題解決の過程と社会における問題解決をつなげて考えることを通して、情報の技術を工夫し創造したりする活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「生物育成の技術による問題解決」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、設定した課題に応じて育成計画を立てたり、問題解決の過程を振り返り、育成した作物の評価をもとに改善策を考えたりするなど、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○　内容の構成・排列については、「技術の学習を始める前に」において、３学年間の学習の見通しをもたせるとともに、「材料を利用するための技術」において、技術に関する原理・法則と、基礎的な技術の仕組みについて理解する学習を行った後に、技術によって問題を解決する学習を位置付けるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。			
使用上の配慮等	○　問題解決の流れのイメージをもたせるための４コマ漫画を示したり、実践的・体験的な学習活動や実習例を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　各小項目の冒頭に学習の見通しをもつ「学習の目標」や、学習内容について自分で振り返るための「CHECK」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　学習における安全について授業場面を例に説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、１人１台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。			
その他	※　中学校用教科書目録（令和７年度使用　文部科学省）による ○　学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。			

様式４

＜技術・家庭（技術分野）の具体的な調査項目＞

◎調査項目

①　各内容（「Ａ材料と加工の技術」「Ｂ生物育成の技術」「Ｃエネルギー変換の技術」「Ｄ情報の技術」）ごとのページ数及び総ページ数 ②　実習・実験の指導における安全と衛生に関する箇所数 ③　北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等の箇所数

◎調査項目にした理由

①　学習指導要領に示されている技術分野の内容を適切に指導することが求められていることから、内容ごとや全体としての分量を把握する必要があるため。 ②　実習・実験のなどの実験的・体験的な学習に当たっては、安全に十分留意することが求められていることから、安全と衛生への配慮について把握する必要があるため。 ③　生徒の興味・関心を生かした学習が促されるよう工夫することが求められていることから、北海道にかかわりのある内容の掲載の状況について把握する必要があるため。

様式５

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、様式６にデータを掲載していることを示す。

調査項目			発行者	東書	教図	開隆堂
①	各内容（「Ａ材料と加工の技術」「Ｂ生物育成の技術」「Ｃエネルギー変換の技術」「Ｄ情報の技術」）ごとのページ数及び総ページ数	「Ａ材料と加工の技術」	ページ数	62	68	80
			全体に占める割合	21%	22%	25%
		「Ｂ生物育成の技術」	ページ数	48	53	52
			全体に占める割合	16%	17%	17%
		「Ｃエネルギー変換の技術」	ページ数	62	65	54
			全体に占める割合	21%	21%	17%
		「Ｄ情報の技術」	ページ数	68	84	74
			全体に占める割合	23%	28%	24%
		その他（※１）	ページ数	58	34	54
			全体に占める割合	19%	11%	17%
		総ページ数		298	304（※２）	314
		前回の総ページ数		306	344	302
		増減		−3%	−12%	4%
②	実習・実験の指導における安全と衛生に関する箇所数			20	51	25
③	北海道とかかわりのある内容を取り上げている資料等の箇所数			7	10	13

※総ページ数は、中学校用教科書目録に示されているページ数とする。

（※１）　「その他」については、統合的な問題について扱うページを含む。

（※２）　教図の総ページ数については、別冊「スキルアシスト」を含む。

様式６
様式５の調査項目③［北海道とかかわりのある内容］の具体的な内容

者	内容	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
東書	B	動物を育てる技術（P99）	文字	省力化のための自動化の技術（北海道八雲町）
		解決策の構想　育成計画（P110）	地図	寒冷地・中間地・暖地の分布図
	C	電気を供給する仕組み（P145）	地図	日本の電源の周波数分布
		新幹線の技術（P155）	写真	北海道・東北新幹線E5系はやぶさ
		編末資料（P197）	写真	世界のエネルギーの問題の解決（北海道十勝地方）
			文字	世界のエネルギーの問題の解決　技術の匠（北海道）
	D	これからの情報の技術（P260）	地図	自然災害の被害に備える情報の技術
教図	B	身近な問題を解決してみよう（P93）	写真	地域の伝統野菜（札幌大球キャベツ）
		社会の発展と生物育成の技術(P108)	文字	寒さに強いイネをつくる（北海道）
	C	１章で学んだことをまとめよう（P135）	地図	電気を安定供給する工夫（北海道）
	D	題材例２：私の町の天気予報(P216)	文字	クライアントのプログラム（札幌）
		３章で学んだことをまとめよう（P241）	画像	「しきさい」の観測データ(北海道周辺の海域)
	他	将来のあなたへ　先輩からのメッセージ（P251）	文字	立命館慶祥高校
	巻末	博物館に行ってみよう！（巻末P④）	文字	札幌市青少年科学館
			文字	札幌市豊平川さけ科学館
			文字	旭川市科学館サイパル
			文字	市立函館博物館
開隆堂	A	材料と加工の技術（P27）	写真	白鳥大橋（北海道室蘭市）
	B	資料：栽培ごよみ（P132）	文字	栽培ごよみ（ミニトマト）主産地：北海道
		資料：栽培ごよみ（P133）	文字	栽培ごよみ（ラディッシュ）主産地：北海道
			文字	栽培ごよみ（ダイコン）主産地：北海道
		資料：栽培ごよみ（P134）	文字	栽培ごよみ（イネ）主産地：北海道
			文字	栽培ごよみ（トウモロコシ）主産地：北海道
			文字	栽培ごよみ（エダマメ）主産地：北海道
		資料：栽培ごよみ（P135）	文字	栽培ごよみ（マリーゴールド）主産地：北海道
			文字	栽培ごよみ（ナタネ）主産地：北海道
		実習例１：ミニトマトの栽培(P136)	文字	ミニトマトの基本情報 主産地：北海道
		実習例３：ラディッシュの容器栽培（P140）	文字	ラディッシュの基本情報 主産地：北海道
		実習例６：イネの容器栽培（P146）	文字	イネの基本情報 主産地：北海道
	C	電気の供給のしくみ（P166）	地図	電気の周波数と融通（北海道地方）

様式１

教科用図書第３採択地区調査委員会

（　　技術・家庭　　）小委員会委員長

草　間　留美子　　印

調査研究・審議の経過	１　審議の対象となった発行者名および数 ・東京書籍、教育図書、開隆堂の三者 ２　調査研究の手段 ・第１回調査委員会（７月９日）で三者の教科書を配付し、調査の観点や手順を協議した。 ・第２回調査委員会（８月７日、８日）に各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式１について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ、様式２～６を作成した。 ３　調査研究のための観点、項目 ・取扱内容については、家庭分野の目標が達成できるようどのような学習活動が取り上げられているか、知識及び技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容がどのように取り扱われているかという視点で調査し整理した。 ・内容の構成・排列等については、系統的、発展的に組織されているかという視点で調査し整理した。 ・使用上の配慮等については、生徒の意欲を高めるように工夫されているか、自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるように工夫されているかという観点で調査し整理した。
全体を通じての特徴	１　東京書籍については、大きく鮮やかな写真や実物大写真を活用したり、すべての生徒が学習しやすいように、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、二次元コードを掲載し、動画やシミュレーションを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られているという特色があり、優れている。 教育図書については、幼児の表情がわかる写真や実物大写真を活用したり、すべての生徒が学習しやすいように、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、二次元コードを掲載し、動画や計算ソフトを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られているという特色があり、優れている。 開隆堂については、目に見えない事象を写真やイラストで視覚化して示したり、すべての生徒が学習しやすいように、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、二次元コードを掲載し、動画や学習カードを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られているという特色があり、優れている。 ２　このほか 、開隆堂と教育図書については領域ごとの内容が目次に表記され、東京書籍については独自の表記の仕方をしているということなどが話題に出されていた。

様式２

技術・家庭（家庭分野）の目標について
【教科の目標】 生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。 (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
【学年・分野・領域等の目標など】 ［家庭分野の目標］ 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【参考】

○　目標の改善

教科目標及び分野目標については、今回の改訂の基本方針を踏まえ、育成を目指す資質・能力を三つの柱により明確にし、全体に関わる目標を柱書として示すとともに、(1)として「知識及び技能」を、(2)として「思考力、判断力、表現力等」を、(3)として「学びに向かう力、人間性等」の目標を示す。

また、(1)から(3)までに示す資質・能力の育成を目指すに当たり、質の高い深い学びを実現するために、技術・家庭科の特質に応じた物事を捉える視点や考え方（見方・考え方）を働かせることを示す。

○　標準授業時数

第１学年－70 単位時間　　第２学年－70 単位時間　　第３学年－35 単位時間

様式３

番号 ＼ 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教　科　書　名
	２・東書	第１・２・３学年 家庭分野	家庭・002-72	新編　新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
取扱内容〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、内容の構成・排列	○　家庭分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「Ａ家族・家庭生活」において、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域における生活の課題を解決する力を養い、家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、家庭内外の仕事について理解したり、家族が家事をどのように分担しているかを振り返ったりする活動 ・「Ｂ衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、それらの課題を解決する力を養い、衣食住の生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、環境のことを考えた調理を行ったり、住まいの中の危険について考えたりする活動 ・「Ｃ消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、消費者の権利と責任に関する知識を身に付けたり、エネルギー消費を減らす方法を考え、消費生活を工夫したりする活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「Ｂ衣食住の生活」の内容において、生活の中から問題を見いだして課題を設定するために持続可能な衣生活を取り上げ、衣服をリフォームしたり、リメイクしたりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。 ○　内容の構成・排列については、小学校家庭科の学習を踏まえ、中学校における学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「生活の課題と実践」において「Ａ家族・家庭生活」と「Ｃ消費生活・環境」の関連を図り、限られた予算の中で、地域の人と炊き出し訓練を開催する実践を例示するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。			
使用上の配慮等	○　「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「プロに聞く！」「せいかつメモ」などのコラムを掲載したり、大きく鮮やかな写真や実物大写真を活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　学習のまとまりごとに、生徒が自分の課題に気づくために生徒キャラクターによる課題につながるヒントを示したり、学習したことを自分自身の生活に生かすために「生活に生かそう」を設けたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　ユニバーサルデザインフォントを使用したり、配色とデザインについて検討し、色覚に関する専門家の検閲を受けたりするとともに、１人１台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、動画やシミュレーションを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他	※　中学校用教科書目録（令和７年度使用　文部科学省）による ○　学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。			

様式３

番号 ＼ 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教　科　書　名
	６・教図	第１・２・３学年 家庭分野	家庭・006-72	新　技術・家庭　家庭分野 暮らしを創造する
取扱内容〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、内容の構成・排列	○　家庭分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「Ａ家族・家庭生活」において、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域における生活の課題を解決する力を養い、家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、高齢者とのかかわりについて理解したり、住んでいる地域のよいところを振り返ったりする活動 ・「Ｂ衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、それらの課題を解決する力を養い、衣食住の生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、災害時を想定した調理を行ったり、健康を守る室内環境の整え方について考えたりする活動 ・「Ｃ消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、販売方法や支払い方法に関する知識を身に付けたり、自分が住んでいる地域の消費生活センターの所在地を調べたりする活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「Ａ家族・家庭生活」の内容において、生活の中から問題を見いだして課題を設定するために高齢者の一般的な特徴を取り上げ、ゴーグルなどを身に付けた疑似体験をするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。 ○　内容の構成・排列については、小学校家庭科の学習を踏まえ、中学校における学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「生活の課題と実践」において「Ｂ衣食住の生活」と「Ｃ消費生活・環境」の関連を図り、しまったままの衣服について考え、買い物のむだを減らす実践を例示するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。			
使用上の配慮等	○　「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「センパイに聞こう！」「メッセージ」などのコラムを掲載したり、幼児の表情がわかる写真や実物大写真を活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　学習のまとまりごとに、学習前と学習後の自分の状況を比較し学習効果を実感するために「自立度チェック」を設けたり、生活の中の課題を、ステップに沿って解決するために「学びを生かそう」を設けたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　ユニバーサルデザインフォントを使用したり、図やグラフの色遣いで、色による区別がなく、色の境界が識別できるように配慮したりするとともに、１人１台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、動画や計算ソフトを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他	※　中学校用教科書目録（令和７年度使用　文部科学省）による ○　学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。			

様式３

番号 ＼ 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教　科　書　名
	９・開隆堂	第１・２・３学年 家庭分野	家庭・009-72	技術・家庭　家庭分野 自立しともに支え合う生活へ
取扱内容〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、内容の構成・排列	○　家庭分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「Ａ家族・家庭生活」において、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、家族・家庭や地域における生活の課題を解決する力を養い、家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、幼児にとっての遊びの意義について理解したり、自分の成長を振り返ったりする活動 ・「Ｂ衣食住の生活」において、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、それらの課題を解決する力を養い、衣食住の生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、加工食品を活用した調理を行ったり、家族の希望を踏まえた部屋の使い方について考えたりする活動 ・「Ｃ消費生活・環境」において、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成するよう、売買契約の成立と解約に関する知識を身に付けたり、キャッシュレス支払いで便利になったことや困ったことについて話し合ったりする活動 ○　主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「Ｂ衣食住の生活」の内容において、生活の中から問題を見いだして課題を設定するために郷土料理や行事食を取り上げ、地域の雑煮を調べて調理するなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。 ○　内容の構成・排列については、小学校家庭科の学習を踏まえ、中学校における学習の見通しを立てさせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「生活の課題と実践」において「Ａ家族・家庭生活」と「Ｂ衣食住の生活」の関連を図り、祖父母と一緒に食べるお弁当をつくる実践を例示するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。			
使用上の配慮等	○　「消費・環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「先輩からのエール」「豆知識」などのコラムを掲載したり、目に見えない事象を写真やイラストで視覚化して示したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　学習のまとまりごとに、自分事として、家庭生活・地域・社会に関心をもつために「生活の具体的な場面の例」を示したり、生活の中から考え、実践するために「やってみよう」を設けたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　ユニバーサルデザインフォントを使用したり、デザイン、配色について色彩の専門家による検証を行ったりするとともに、１人１台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、動画や学習カードを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他	※　中学校用教科書目録（令和７年度使用　文部科学省）による ○　学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。			

様式４

＜技術・家庭（家庭分野）の具体的な調査項目＞

◎調査項目

①　各内容（「Ａ家族・家庭生活」「Ｂ衣食住の生活」「Ｃ消費生活・環境」）のページ数及び総ページ数 ②　実習・実験の指導における安全と衛生に関する箇所数 ③　北海道とかかわりのある内容を取り上げているページ数

◎調査項目にした理由

①　学習指導要領に示されている家庭分野の内容を適切に指導することが求められていることから、内容ごとや全体としての分量を把握する必要があるため。 ②　実習・実験などの実験的・体験的な学習に当たっては、安全に十分留意することが求められていることから、安全と衛生への配慮について把握する必要があるため。 ③　生徒の興味・関心を生かした学習が促されるよう工夫することが求められていることから、北海道にかかわりのある内容の掲載の状況について把握する必要があるため。

様式５

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、様式６にデータを掲載していることを示す。

調査項目 ＼ 発行者				東書	教図	開隆堂
①	３つの内容「Ａ家族・家庭生活」「Ｂ衣食住の生活」「Ｃ消費生活・環境」のページ数及び総ページ数	「Ａ家族・家庭生活」	ページ数	24	60	62
			全体に占める割合	8%	20%	20%
		「Ｂ衣食住の生活」	ページ数	102	150	146
			全体に占める割合	34%	51%	46%
		「Ｃ消費生活・環境」	ページ数	22	42	20
			全体に占める割合	7%	14%	6%
		「Ａ家族・家庭生活」「Ｂ衣食住の生活」「Ｃ消費生活・環境」（※１）	ページ数	11	10	34
			全体に占める割合	4%	3%	11%
		「Ｂ衣食住の生活」「Ｃ消費生活・環境」（※１）	ページ数	44	0	12
			全体に占める割合	15%	0%	4%
		「Ａ家族・家庭生活」「Ｃ消費生活・環境」（※１）	ページ数	36	0	4
			全体に占める割合	12%	0%	1%
		その他（※２）	ページ数	59	34	36
			全体に占める割合	20%	11%	12%
		総ページ数		298	296	314
		前回の総ページ数		306	308	302
		増減		−3%	−4%	4%
②	実習・実験の指導における安全と衛生に関する箇所数（※３）			41	51	35
③	北海道とかかわりのある内容を取り上げているページ数			7	6	5

※総ページ数は、中学校用教科書目録に示されているページ数とする。

（※１）　調査項目「ＡＢＣ」「ＢＣ」「ＡＣ」については、編集趣意書に基づくものとする。

（※２）　「その他」は、巻末資料等とする。

（※３）　調査項目②の「実習・実験の指導における安全と衛生に関する箇所数」については、「安全」マーク及び「衛生」マークを対象とする。

様式６
様式５の調査項目③［北海道とかかわりのある内容］の具体的な内容

者	内容	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
東書	B C	生鮮食品の特徴（P55）	写真	牛肉の表示例（北海道産）
	B	日本の食文化と和食の調理（P99）	写真	地域の食材（利尻昆布）
	B	日本の食文化と和食の調理（P103）	写真	日本各地の郷土料理（石狩鍋）
	B C	日本の衣服の文化（P123）	写真	地域に伝わる染色の例（アットゥシ）
	B	住まいと気候風土の関わり（P174）	写真	日本各地の住まいの例（風除室・二重窓）
	B	住まいと気候風土の関わり（P175）	写真	日本各地の住まいの例（無落雪屋根）
	A C	子どもにとっての家族（P256）	写真	乳幼児のための社会施設の例 （札幌市子育て支援総合センター）
教図	B	食事の役割を考えよう（P73）	写真	「こども食堂」でつながろう （札幌市こども食堂）
	B	地域の食文化を知ろう（P140）	資料	地域の食材の例（ななつぼし）
	B	地域の食文化を知ろう（P141）	資料	地域の食材の例（さけ・さんま・いか・かに）
	B	地域の食文化を知ろう（P143）	写真	全国各地のおもな郷土料理（石狩なべ）
	B	和食の調理をしてみよう（P146）	写真	地域の食材を用いた和食の調理をしてみよう （三平汁）
	B	私たちの住生活（P199）	写真	日本各地の住まいの例（三角屋根）
開隆堂	A	多様な家族関係（P33）	写真	地域の取組(札幌市ヤングケアラー交流サロン)
	B	受け継がれてきた食文化（P158）	写真	伝統野菜の例（札幌黄）
	B	受け継がれてきた食文化（P161）	写真	日本各地の郷土料理（ちゃんちゃん焼き）
	B C	持続可能な食生活を目指して(P173)	写真	フードバンク（札幌市）
	B	日本の気候風土と住まい（P240）	写真	気候風土に合わせた住まいの特徴 （融雪装置や二重玄関）